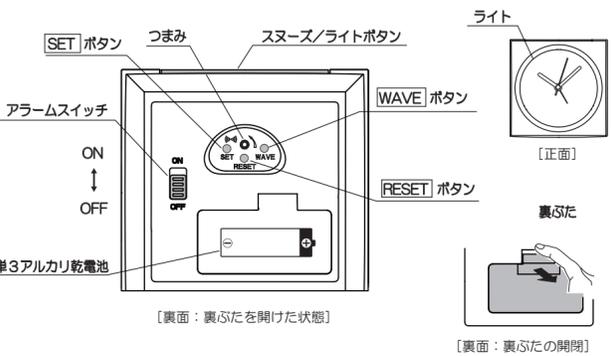


ご使用方法

■ 付属品 ご使用前にご確認ください

- 取扱説明書（保証書） 1枚
- 単3アルカリ乾電池 1個

■ 操作部 時計のデザインにより電池、ボタン、ライトの位置等は異なる場合があります。



■ ご使用方法

1. 電池を入れてください（単3アルカリ乾電池1個）

- ① 手前に引いて裏ぶたを開けてください。
 - ② 電池を入れてください。
- ⊕ ⊖ をまちがえないようご注意ください。

2. [RESET] ボタンを押してください

[RESET] ボタンを先端の細いもので押してください。受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

●時分秒針が早送りで「12時の位置」で停止し、電波受信を開始します。

●受信に要する時間は、最長約15分間です。

＜受信に成功した場合＞
自動的に時分秒針を現在時刻に合わせます。

＜受信できなかった場合＞
時刻を修正しないで12時から針が動き出します。

右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分秒針を現在時刻に合わせてください。

注）電池交換後は、必ず [RESET] ボタンを押してください。

3. 時計を置いてください

本機を使用したい場所に置いてください。この際、窓際などでできるだけ電波を受信しやすい場所に置いてください。

4. アラーム時刻をセットする

つまみを必ず、方向（反時計まわり）に回してアラーム時刻を合わせてください。

●アラーム時刻は10分間隔で合わせることができます。

※つまみを逆方向に無理に回さないでください。破壊する恐れがあります。

●アラームは、セットした時刻の5分前から5分過ぎの間に鳴りだします。（例えば、7時に合わせたととき、6時55分から7時5分の間に鳴りだします。）



アラームの針

5. アラームを鳴らす、または鳴らさない、一度止めて再び鳴らす

- 【アラームを鳴らす】
アラームスイッチをONにしてください。
- 設定した時刻にアラームが鳴ります。
- アラームスイッチをONにすると、秒針が「12時の位置」で停止します。
- ※秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示します。
- ※リセット後の受信中または手動により電波を受信させている間は、アラームが鳴りません。
- 【アラームを鳴らさない】
アラームスイッチをOFFにしてください。
- アラームを完全に止めます。
- 【アラームを一度止めて再び鳴らす】
アラームを一度止めて、再び鳴らすには2通りの方法があります。
- ① スヌーズ/ライトボタンを押す
アラームは止まり、約5分後に再び鳴りだします。（スヌーズ機能）
 - ② 鳴っているアラームをそのままにする
アラームは約2分間鳴って約5分間の停止を繰り返します。（オートスヌーズ機能）
- スヌーズ、オートスヌーズ機能はアラームスイッチをOFFにしないかぎり、約30～60分間使えます。
- なお、12時間後のアラーム設定時刻に再びアラームが鳴ります。

その他の機能

■ 受信結果について

[WAVE] ボタンを1回押す（2秒以下）と、ライトが受信結果を表示します。

- ・点滅（3回）：受信に成功しています。
- ・点灯（約3秒）：受信できていません。
- ・消灯：受信中または自動受信機能がOFFです。

■ 自動受信について

毎日7回、自動で電波受信を行ないます。

受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。

●午前2、3、6、10時および午後2、6、10時の各16分に受信を開始します。

※自動受信のとき、秒針が「12時の位置」に停止することがあります。

■ 電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ、時刻を合わせる

[WAVE] ボタンを約3秒間押し続けてください。

針が早送りをして、「12時の位置」で停止し、受信を開始します。

受信に要する時間は、最長約15分間です。

●受信中は針が停止します。

●受信できなかった場合、針は元の時刻に戻り動きだします。場所を変えてもう一度受信させてください。

●詳しくは右記「電波クロックについて」をご覧ください。

また、夜間は風間くらべて受信状態が良くなりますので、風間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻を合わせる

- 電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせるができます。
- ① [SET] ボタンを約3秒以上押し続けてください。
手動時刻調整モードに入ります。
 - ② [SET] ボタンを1回押すと、分針を1分送り、押し続けるとボタンを放すまで送り続けます。
 - ③ ※[SET] ボタンを押されている間は秒針が停止し、放すと動きだします。
 - ④ ※約6秒以上 [SET] ボタンが押されなかった場合、自動的に手動時刻調整モードが終了します。

■ 自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。（設定受信の防止や、設定時刻をずらすしてお使いになりたい場合などにご使用ください。）

[WAVE] ボタンと [SET] ボタンを同時に約3秒間押し続けてください。

秒針が早送りします

- ・秒針が「12時の位置」で停止：自動受信機能ON状態
- ・秒針が「10時の位置」で停止：自動受信機能OFF状態

●操作を繰り返すとON⇔OFFの設定が切り替わります。

※リセット後は自動受信機能がONの状態です。

※電波受信中は、設定ができません。

※OFFの状態では、受信結果の表示や手動による受信はできません。時刻を合わせる場合は、上記「2.手動で時刻を合わせる」に従ってください。

電波クロックについて

■電波時計/電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

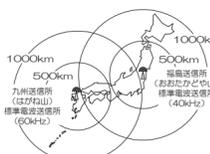
情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ「原子時計」によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km～1200kmです。

この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれかを受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。

ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや障害などの影響により停送することがあります。停送に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。お客さま相談室にお問い合わせください。（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）

■使用場所について

- 本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件下では正確に受信できないことがあります。
- ビルの中、ビルの谷間、地下。
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
 - テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
 - 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
 - その他電波ノイズを発生させるものの近く。
 - スチール机等の金属製の家具の上や近く。

故障かなと思ったときには

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きに入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、[RESET] ボタンを押してください。 ・電池端子や接片の汚れを拭いてください。また、電池を入れて2～3分経過後、[RESET] ボタンを押してください。
針が不規則に動く	・手動受信中または時刻修正中である。	・受信終了または時刻修正後、通常の運針に戻ります。
針が「12時の位置」で停止している	・自動または手動による受信中である。 ・アラームスイッチがONになっている。	・受信が終了すると針が動き始めます。 ・OFFにすると秒針が動き始めます。
時刻が合っていない	・受信に成功していない。 ・電池の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、[RESET] ボタンを押してください。 ・確実に [RESET] ボタンを押してください。
アラームの音が鳴らない	・アラームスイッチがOFFになっている。 ・静電等による誤動作 ・電池の容量が少なくなっている。	・アラームスイッチをONにしてください。 ・電池を入れなおしてから [RESET] ボタンを押してください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、[RESET] ボタンを押してください。

■ ライトについて

スヌーズ/ライトボタンを押すと、ライトが約3秒間点灯します。

■ リセットについて

針が早送りをして、「12時の位置」で停止し、受信を開始します。受信できない場合は、12時から運針します。

■ 使用上のご注意

- 指針（針の表示）誤差について
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。
秒針：±1秒以内、分針・時針：±3度以内
- 海外でのご使用について
この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外では電波修正機能のご使用はできません。
左記「■自動受信を止めるには」をご参照のうえご使用ください。
- 電池交換後は、必ず [RESET] ボタンを押してください。

DKR-096P

必ずお守りください。安全上のご注意

⚠ 警告

＜アルカリ電池について＞
(1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

(2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合はきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

＜梱包用ポリ袋について＞

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注意

＜電池について＞
下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1) ⊕ ⊖ を正しく入れてください。
- (2) 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3) 充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
- (5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
- (6) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

＜時計の設置場所について＞

落下や転倒により、けがおよび器物を破壊する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

製品仕様

- 精度：平均月差±30秒
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
（気温25℃で使用した場合）
- 使用温度範囲：-10℃～+50℃
- 使用電池：単3アルカリ乾電池1個（JIS規格LR6）
- 電池寿命：約1年
（1日につきアラームを30秒間、ライトを約3秒間使用した場合）
- 電波受信機能：自動受信（1日7回）
（受信から次の受信まではクォーツの精度で動いています。）
手動受信
※40kHz、60kHzのいずれかを受信しやすい電波を自動受信します。
- アラーム：電子音、約5分間スヌーズ、オートスヌーズ（約2分間鳴って約5分間停止）（30～60分間使用できます）
- アラーム精度：アラーム表示に対して±5分
- 時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット
- ※指針（針の表示）誤差について
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。
秒針：±1秒以内、分針・時針：±3度以内
- ※上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。
保証の内容については右記の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお取り扱いメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、3年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただけます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客さまがお買上店にお持込みいただけます。修理を依頼される時はお買上店にご持参ください。
- ご不明の点はお客様相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。

この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対しても責任を負いません。

この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

受付番号	受付年月日	サービス内容	確認印

目ざまし時計

取扱説明書

電波クロック

お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

GUARANTEE 保証書

お買上げ後1年間の保証期間中に取扱説明書にそった正常の使用状態で万が一故障した場合には、お買上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理・調整致します。時計と販売店名捺印の本保証書をご持参の上、お買上げ店にご依頼ください。

※お買上げ店へご持参（または送り）いただく際の運賃・諸掛り費用は、お客様にてご負担願います。

尚、本保証書の発行によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

品番・型番	
お買上げ日	年 月 日 保証期間
お客様	ご氏名
	ご住所
TEL	
販売店	

本保証書は日本国内のみ有効です。（This guarantee is valid only in Japan.）

- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますのでご注意ください。
- 1. 本保証書のご提示がない場合。
- 2. 本保証書に販売店およびお買上げ日の記載がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- 3. 誤ったご使用、不注意、不当な修理・改造・天災地変等による故障又は損傷。
- 4. ご使用中に生じる外観上の変化（ケース、ガラス、その他付属品の小キズなど）
- 電池は保証の対象外です。
- 修理にあたっては、ケース、ガラス、文字板、針、つまみ類、その他の付属品などについては、一部代替品を使用させていただきます。
- 有料修理の場合も修理品の運賃、諸掛り費用はお客様にてご負担願います。

本書は再発行したまきせんで、大切に保管ください。
部品の保有期間や、修理可能期間などアフターサービスについては「保証・アフターサービスについて」欄に記載しております。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番（品番）をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。

（例：AM000、PW000、KG000など）

フリーダイヤル
お客様相談室 ☎ 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元
セイコークロック株式会社

〒135-8557 東京都江東区福住 2-4-3

説明書番書 DKR-096P

必ずお読みになってからご使用ください。使用場所・お手入れ

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

- 温度が+50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。
[プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。]
- 塵、埃の多い所。
（空気に漂い上がったごみや指や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。）
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
（磁気の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まる場合があります。）
- 浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。
（霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まる場合があります。）
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。

- 木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が腐むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガれが起きることがあります。
- 電波ノイズを発生させるものの近く。
高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など電波障害の起きる所。乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- スチール机等の金属製の家具の上や近く、金属製の壁の近く。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

●ペンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ハスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

- 枠をふくときは、濡った、やわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾かしてください。

※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。